



IAAE会場にて(株)ビッグウェーブの服部厚司社長と青木勝幸理事長が会談

## 今まで以上に親睦を図り、これからの自動車リサイクル業界の発展のための協力関係を築いていく!!



ビッグウェーブの服部厚司社長（写真右）と会談する青木勝幸理事長（写真中央は聞き手の杉之間大和総務委員長）

国際オートアフターマーケットのNGPブースに(株)ビッグウェーブの服部厚司社長もご来場いただきました。

そこで自動車リサイクル業界を牽引するビッグウェーブの服部厚司社長とNGPの青木勝幸理事長のトップ二人に、これからの自動車リサイクル業界、それぞれの今後の協力関係の形についてお話を伺いました。（聞き手：杉之間大和NGP総務委員長）

**青木理事長：**ビッグウェーブとは、長年この自動車リサイクル業界の中で、オピニオンリーダーとして良い友好関係を築いてきています。提携関係を結び、今後さらに良いパートナーシップを築いていくためには、お互いの親睦をこれまで以上に深めていくことが大事だと思います。

**服部社長：**青木理事長のおっしゃる通り、もっとお互いに意見交換をし、ビッグウェーブの会員の方々にもNGPの良

いところをどんどん吸収してもらいたいと思います。

**杉之間：**両者の具体的な協力関係については、どう考えられますか？

**服部社長：**NGPにしてもビッグウェーブにしても、お互い組合員、会員がローカルなレベルで昔から商売やそれ以外の部分でも個々に良い協力関係を築いてきていますし、意見交換も行っています。その中でお互いのレベルアップ、さらにこの自動車リサイクル業界全体の底上げになれば良いですね。

**青木会長：**グループ間の大きな事案としては、品質保証の問題などがありますが、服部社長がおっしゃる通り、会員、組合員同士のつながりや交流など地道にできることから少しずつ進めていくことが良いのではないのでしょうか？

**服部社長：**お互いのグループとしては、使っているシステムが違うというだけで、自動車リサイクル業界で商売をしているという意味においても皆仲間同士なわけですから、両グループがお互いに良いところを取り入れて、お互いの組合員、会員がそれぞれレベルアップしていけば、自動車リサイクル業界全体の底上げになってくると思います。

**青木会長：**両グループがこの自動車リサイクル業界の中でイニシアティブをとって、エンドユーザーに対しての業界イメ

ージのアップやリサイクルパーツ使用の啓蒙促進を訴えていく必要がありますし、そのための協力関係というのが、これから益々重要になっていくのではないのでしょうか？

**服部社長：**その意味でも、NGPがこのような展示会で自動車整備事業者をはじめエンドユーザーに対して、PR活動を行うことは大変、意味が深いですね。

**杉之間：**最後にこれからの自動車リサイクル業界の中でお互いの目指すところをお聞かせ下さい。

**青木理事長：**自動車リサイクルパーツが、今まで以上に一般の方々に認知され、新品部品同様に使われていくようなマーケットを構築していくこと。そのためには今まで同様、高品質のリサイクルパーツを数多く供給していくことで、それが押し付けではなく、業界標準となれば良いと思いますし、ビッグウェーブとも共同歩調でこれからもやっていけたらと考えています。

**服部社長：**ビッグウェーブも全てはお客様のために高品質のリサイクルパーツを数多く供給していくことが一番であり、そのためにもNGPとお互いに切磋琢磨して、これからも自動車リサイクル業界発展のために良い協力関係を築いていきたいと思います。

**杉之間：**ありがとうございました。

## 国際オートアフターマーケットEXPO2005 プレイバック

NGPでは今回の国際オートアフターマーケットで、パネルやビデオを使って、来場者の方々に自動車リサイクル法の解説やNGPが取り組んでいる使用済自動車の適正処理、リサイクルパーツの生産、品質管理などの説明を行った他、実車のカットモデルや使用済自動車から取り外した座席シートを再利用した“リサイクルチェア”の展示も行いました。

そこで、何人かの人にリサイクルパーツについてのコメントをもらいました。

NGPブースに来場した神奈川から来たという整備事業者の方は「リサイクルパーツは最近、よく使うようになった。お客様にとって修理料金（部品代）も安く上がって、環境に優しいとなれば、これからもっと使われるようになるんじゃないか。そのためにも、こういった展示会なども含めて、もっと一般の人にもリサイクルパーツを知ってもらう活動を続けてもらえれば、整備事業者としてもおおいに歓迎できますね。」

また、東京から来たという钣金事業者の方も「リサイクルパーツも最近は品質

も良くて、外装部品を色指定で注文することもある。需要が伸びればマーケットは大きくなるので、钣金修理ではこれから益々リサイクルパーツが使われるようになるんじゃないかな。」と今回NGPブースに立ち寄って、改めて感じたと話してくれました。



NGPブースにご来場いただき、ありがとうございました



リサイクルパーツの現物展示とリサイクルパーツの啓蒙促進用ツールを展示



使用済自動車から再利用されたリサイクルチェア（写真手前）と実車のカットモデル（写真奥）



今回の展示会のサブテーマを直方体のパネルにして、ブースの中央に展示

## 個人情報保護法についてご存知ですか？

個人情報保護法についてご存知ですか？

今年4月1日からスタートする個人情報保護法をご存知でしょうか？

近頃、連日のようにニュースで取り上げられる、企業からの“個人情報”流出事故の問題。これらの事故を防止するため、個人を特定できる情報を扱う民間企業や地方自治体などが、その個人の利益を守るために“個人情報”を適正に取得、管理を義務づける法律がこの“個人情報保護法”です。

この法律でいう“個人情報”というのは、「企業の持つ顧客名簿」に限ったことではなく、漏えいすることでその個人に迷惑を及ぼす可能性がある「氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それによって当該個人を識別できるものを含む）」（個人情報保護法第2条1項より）全般を指しています。

これはアナログ情報（紙や台帳など）とデジタル情報（パソコンデータなど）の両

方が含まれます。

つまり、自動車整備事業者なら車検証のコピーや点検記録簿、保険証券などが対象となる他、名刺やお客様アンケートなども法律の適用範囲となります。

個人情報取扱事業者とは？

個人情報保護法では、5,000人を超える顧客情報を保有している事業者が法律の適用対象となるとあります。この顧客情報が5,000人を超えない事業者は「小規模事業者」として、この法律の対象からは外れることとなります。だからと言って、“うちの会社は対象外だから、何の対策もない”というのは危険です。

例え小規模事業者であっても、万が一個人情報が漏えいした場合、社会的な信用を失うこととなり、また、個人情報保護法の罰則を受けることはなくても、民事で損害賠償責任等が発生する可能性があります。

そうならないためにも、個人情報の取扱が5,000人を超えない小規模事業者でも個人情報保護のための対策を対象事業者同様に行うべきでしょう。

個人情報取扱事業者の義務と罰則について

個人情報保護取扱事業者の義務としては、次の8つが挙げられます。

**取得した個人情報の利用目的の特定**・・・個人情報を取得するためには、その利用目的を明示すること

**取得した個人情報の利用目的による制限**・・・利用目的の特定を行い、それ以外の目的で取得した個人情報を使用しない

**個人情報の適正な取得**・・・違法な名簿業社などから個人情報を購入・取得したり、出所のはっきりしない情報は入手しない

**情報取得に際しての利用目的の通知等**・・・特定した個人情報の利用目的を相手（情報提供者本人）に対して必ず通知する

**データ内容の正確性の確保**・・・誤った情報がもつて相手（情報提供者本人）に被害が及ばぬように、内容を常に最新のものに保つ

**安全管理処置**・・・会社・事務所の入退室管理やパソコン内のデータ管理を確実に行う

**従業員の監督**・・・自社社員と誓約書を結ぶなどして、社内から社外への情報流出を防止する

**委託先の監督**・・・取引のある外注先からも個人情報が漏れないよう、十分な管理を行う

これらの義務行為を守らずに個人情報が漏れいした場合、6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金。また、主務大臣（自整業の場合、国土交通大臣、経済産業大臣など）による報告の徴収に対して報告をせず、また虚偽の報告をした場合は30万円以下の罰金になります。

しかしながら、前述した通り、個人情報が漏れいした場合、刑事罰の対象だけでなく、被害者本人から民事裁判を起こされる可能性もあるため、個人情報保護対策は企業活動をしていく上で今後は必ず対策を講じなければいけません。



## ●2月のリサイクル料金預託は320億円 預託台数も前月の2.2倍の340万台に!!●

自動車リサイクル促進センターは、2月度のリサイクル料金及び預託状況、電子マニフェスト実施状況について発表した。

2月単月の全預託台数は340万台（1月は149万4千台）で、金額ベースは320億円（1月は146億円）となり、約2.2倍の実績となった。また、電子マニフェストの実施状況は最終工程である破砕引渡報告ベースで13万3千件（1月は1万2千件）となり、システム稼働率も大幅にアップした。

預託台数の内訳詳細を見ると2月1日から本格的にスタートした車検時預託が1月の113万台から280万台と2.5倍強の伸びを示し、新車新規登録時の預託は47万5千台（1月は30万5千台）、廃車引取時の預託も13万台（1月は5万8千台）とこちらも2.2倍の伸びとなった。

このように自動車リサイクルシステム自体は順調に推移しているという結果が出た。

これから3月の繁忙期に突入するが、システムの円滑な運営には、ある程度、

目処が立ってきたといえる。

一方、現場レベルで見ると、2月1日からスタートしたリサイクル料金の車検時預託業務や使用済自動車の引取業者としての電子マニフェスト報告など、整備事業者の業務は多忙を極める。

3月は車検台数をもっとも多いシーズンであり、整備事業者は今後、自動車リサイクルシステムにいかにか早く慣れるかが業務効率アップの鍵となってくる。

# NGPリビルトメーカー協力会のメンバーもEXPOに出展!!

今回開催された国際オートアフターマーケットEXPOには、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合のリビルトメーカー協力会からもブースを出展、展示会を一緒に盛り上げました。ここで紹介します。



### ジャパンリビルト(株)

ジャパンリビルトは、多様なリビルトアイテムを揃え、コア在庫ではなく、商品在庫としてお客様への注文に迅速対応を目指す



### 信越電装(株)

信越電装では、四輪車の高品質リビルトコンプレッサー類だけでなく、二輪のハーレーダビッドソンのリビルトスターターも商品化



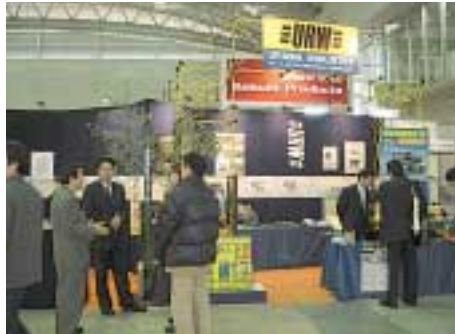
### イトーパーツ(株)

イトーパーツでは、既存のリビルト7アイテムに加え、今春からは、リビルトACコンプレッサーの販売も開始



### 株ジー・ローバル

ジー・ローバルは、あらかじめ良品のコアのみを回収してリビルトしているので出来あがる商品も高品質を実現



### ウラワ産業

ウラワ産業の高品質リビルト「リ・マンドライブシャフト Assy」は業界初となる3年3万キロの長期保証を実現



### 株ターボテクノサービス

ターボテクノサービスは受注、在庫検索、出荷、コア管理を一元管理し、高品質のリビルトターボチャージャーを全国に供給

## NGP日本自動車リサイクル事業協同組合取り扱いリビルトパーツ一覧

分野	品目
外装・機能部品	エンジン、トランスミッション(AT・MT)、トルクコンバーター、ターボチャージャー、噴射ポンプ、パワーステアリングギアボックス、ラック&ピニオン、ドライブシャフト、ACコンプレッサー、パワステポンプ、シリンダーヘッド、バンパー
電装系部品	スターター、オルターネーター、ECVTミッション、エンジンコンピューター、スピードメーター、デストリビューター、スロットルチャンパー

### NGP リビルトメーカー会社 協力会メンバー

株阿部商会	いすゞ産業(株)	イトーパーツ(株)	ウラワ産業	株エイ・ティ・ケイ販売	株KSS
株コーヨー	株ジェイ・シー・シー	シャコエンジンアング(株)	株ジャパンリビルト	株ジー・ローバル	株信越電装
株ターボテクノサービス	株デルオート	東邦自動車(株)	株トランスラインコーポレーション	日本ウエア・ハウス(株)	株ハンコックタイヤジャパン
株フジリンクージ	株ヘイワコーポレーション	ヤマト自動車硝子(株)	株ユニコ	株リビルトショップ	株ワイケイ (五十音順)

各種リビルト商品のご注文・お問い合わせは各NGP組合加盟店にご用命ください

#### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F  
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
http://www.ngp.gr.jp

#### 株NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目19番26号 高輪光ビル5F  
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201